

各 位

2019年2月18日

会社名 株式会社ファインデックス
代表者名 代表取締役社長 相原 輝夫
(コード番号: 3649)
問合せ先 取締役管理部長 藤田 篤
(TEL. 089-947-3388)

キヤノンメディカルシステムズ株式会社との商品基本取引契約の締結に関するお知らせ

当社とキヤノンメディカルシステムズ株式会社（以下、「キヤノンメディカルシステムズ」といいます。）とは、2018年1月26日に開示いたしました「キヤノンメディカルシステムズ株式会社との業務提携の基本合意に関するお知らせ」に関して、販売面での業務提携にかかる詳細な事項について、2019年2月18日付で商品取引基本契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業務提携の基本合意の概要

当社グループは、医療機関内の検査データや文書データ等を一元管理し、これを有効に利活用するためのシステムを幅広く提供するとともに、今後は、これらのシステムが管理する種々のデータやヘルスケアデータの、オープンな環境のもとでの収集・統合・解析・可視化をすすめ、遠隔医療や医療費削減、国民の健康管理、予防医療の推進、業務上の安全管理など、国策にも貢献し得る事業を展開しております。

キヤノンメディカルシステムズは、放射線システムを主たる領域として全国に72拠点を展開し、特にX線診断システムやCT、MRI等の医療用機器の分野では、国内において高いシェアを誇っています。

両社は、その技術が日進月歩で進化する医療業界にあって、互いの強みをもって補完しあうことでより大きなシナジーを得るべく、2018年1月26日に基本的な合意文書を締結いたしました。

今般、当該基本合意に基づき、製品の補完範囲や連携に係る今後の方針等につき詳細な事項の合意にいたり、商品取引基本契約（以下、「本契約」といいます。）を締結いたしました。

なお、両社は昨年の基本合意に基づいて、製品開発面での協業の検討も同時に進行させており、近々に内容の合意に至るものと考えております。

2. 商品基本取引契約の概要

本契約では、キヤノンメディカルシステムズのRapidEyeCore（PACSシステム）と当社の内視鏡システム及び生理システムとを連携させ、病院の規模の大小を問わず、互いの製品を販売していくことを合意しました。

これにより両社は、院内で実施される全ての検査結果を管理する仕組みを、ワンストップで提供できることとなりました。

3. 商品基本取引契約により想定される効果及び今後の見通し

本契約に基づき、両者は相手方の製品を通常よりも廉価で仕入れることが可能となり、もともと有していた製品力に加え、価格競争力も手にすることとなりました。また、あらゆる規模の医療機関に対してオールインワンのソリューションを提供できることから、両社の既存顧客に対するアプローチはもとより、新規顧客に対してより魅力的な提案を行うことが可能となります。加えて、両社の担当者が相互の製品を取り扱うことで、導入にかかる費用とヒューマンリソースの消耗を抑えながら、販路の拡大を図ることが可能となります。

現時点において、大学病院を含む7つの大規模医療機関に既に提案を開始しております。2019年12月期の連結業績に与える影響は数千万円程度の予定ですが、今後、両社の全拠点において協業を前提とした提案活動を開始することから、2020年12月期以降に大きなシナジー効果を発揮するものと考えております。

4. 日 程

- (1) 取締役会決議日 2019年2月18日
- (2) 基本合意の締結日 2019年2月18日

以 上